

遊文通信

2022年 躍進の想いととともに
～かかわるすべてのみなさまとともに～

遊文舎を支えていただいているすべてのみなさま

いつも遊文舎に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。みなさまのおかげで、遊文舎は厳しい世相の中 2021 年度も越年し、新年度を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

コロナ禍を乗り越え、
大いなる躍進の志を抱いて

2020 年初頭から続いた新型コロナウイルス感染症パンデミック。2021 年も年始初頭から緊急事態宣言が発令されるなど、不穏な幕開けとなりました。年末ようやく終息の兆しが見えてきたものの、まだまだ予断を許さない状況です。遊文舎はその影響を少なからず受け、2020 年度は大きな損失を計上しました。しかしいかなる要因があろうとも、2 期連続の営業赤字は許されないと従業員とともに気持ちを引き締め、そのかいあって売り上げは 5% 増収、営業利益も黒字を確保できる見込みです。

2022 年からは、おそらく国や自治体の補助金、助成金は大幅に削減されるでしょう。企業は各々自分たちの実力でアフターコロナを乗り切り、来るべき大阪万博の好景気の波がくるまで耐え凌がねばなりません。2022 年度の世相は混迷すると予測します。

しかし悲観的になっけていても何もはじまりません。大規模自然災害はもとより、歴史を紐解けば今回のような感染症パンデミックを人類はたびたび乗り越えてきました。オイルショックしかり、リーマンショックしかり、東日本大震災しかり、今回の危機も人類の叡智の結集により力強く乗り越えるのは時間の問題であることを歴史が証明してくれているわけです。再び経済が活性化する、そう遠くない未来に備え、私たち遊文舎は今だからこそできること、すべきことを共有し、着実に実行してゆく所存です。



昨年は遊文舎公式アプリをリリースしました。



変化をチャンスに、今こそ挑戦あるのみ

「この世で生き残る者は強い者でも賢い者でもなく、変化できる者である」この著名な格言を今こそ反芻し、日々の行動に落とし込まないといけないと考えております。「コロナが落ち着いたら」というのが挨拶の枕詞になり久しいですが、外部環境の大きな変化はあって然るべきと捉え、その有事に備え個人も企業も備えが必要であることを、コロナ禍はあらためて強く認識させてくれました。企業の備えは内部留保であり、そのために平常時に時流にマッチしたビジネスモデルを磨き上げ、堅調な収益を上げ続ける必要があります。

デジタルトランスフォーメーションの概念が認知され、これまでは生産効率を上げるツールとして認識されていた IT や ICT の立ち位置も今後変わってくるのではないのでしょうか。個人が生活を豊かにし企業が収益を上げるための手段として、人々が明確な意思を持って使いこなす。まだ曖昧模範としている DX の真の価値を見出した者が今後ますます時流に乗っかり、弛まない成長を育んでゆくことでしょう。



印刷物の品質も徹底して磨きあげていきます。



印刷会社として今後なすべきこととは

600年前のルネサンス期に人類の三大発明に数えられた印刷技術。一つのコンテンツを大量に複製し、情報伝達の利便性を飛躍的に向上させたであろう印刷技術は21世紀のインターネットに匹敵する技術革新を巻き起こしたことは想像に難くありません。600年の時を経て、印刷技術を活用した情報伝達産業の担い手である私たち印刷会社の社会的使命も大きく変わりました。DXという大きな潮流の波を自ら乗りこなし、常に情報伝達の最適解をお客様とともに創造する。これまで培ってきた紙媒体の製造ノウハウとインターネットの速報性をうまく融合させ、ロジスティクスまで含めたワンストップサービスを提供していく。

これらを成しえるには経営陣がまず知見を高め、未来を見据えた明確なビジョンを示せないといけません。そしてそれ以上に、担い手である従業員一人ひとりにとって魅力的である企業であり続け、彼ら彼女らの能力を最大限引き出せる、そのような企業風土を醸成していかなければなりません。ITがいかに進化し外部環境がどう変わろうとも、従業員とともにその変化に強かに適応する。印刷会社に限らずこのような企業が存続してゆくのではないだろうかと考え、日々の行動に落とし込んでまいります。

私たちのスローガン～

育てよう OUR COMPANY！

自ら創ろう OUR GREAT FUTURE！

本年度も遊文舎グループを
何卒よろしくお願い申し上げます。



株式会社遊文舎 代表取締役

木原 庸裕

Profile

1968年生まれの53歳

大阪府出身

慶應義塾大学文学部卒業

経営道場大和（旧盛和塾大阪）・関西不動産三田会所属 大阪府グラフィックサービス協同組合常任理事
法人営業、生産管理の実務・マネジメント経験を積み財務会計の知識を備え、2007年6月2代目後
継者として株式会社遊文舎代表取締役就任

2017年2月、M & Aによる事業承継により東京都調布市の株式会社DAIプランニング代表取締役就任

2021年1月、同じくM & Aによる事業承継により京都市上鳥羽の双林株式会社代表取締役就任

コロナ禍の中、各々特徴のある3社の強みを活かし、事業シナジーを創出するべく奮闘しております。

趣味はウインドサーフィン、筋トレ、ゴルフ、読書です。日々の新しい刺激的な出会いに感謝しつつ、

皆さまとの一つひとつのご縁を大切に生きていきたいと考えております。



OSAKA



TOKYO

編集後記

2022年明けましておめでとうございます。“コロナ禍”と言われてから早や2年が経とうとしています。町中のマスク姿もさすがに見慣れてきました。近年は様々な変化がありましたが、順応し対応して皆さまとともに歩んでいけるよう、本年も精進していきたいと思ひます。この『遊文通信』では今後も明るい話題も多数取り上げていきたいと思ひます。いつも感想などお声掛けいただきありがとうございます。引き続き2022年もご愛読いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。（まるめがね）

■今月の紙

紙：OK 金藤＋
菊判 76.5kg